

認定こども園あかみ幼稚園
認定こども園メイプルキッズ

園長 中田幸子
施設長 長島弥生

1年間の乳幼児期の成長を感じています

4月、初めての環境に戸惑う様子も見られながら、メイプルキッズでの生活がスタートしました。新しい環境に不安で、泣いたり、緊張したりする様子を、保育者がしっかり受け止めることで、園、保育室、保育者など、その子によって違いはありましたが、「安心する場所」になっていきました。

<0歳児>

身体の発達が著しくみられる年齢です。入園時は、ハイハイをしていた子が、しっかりと一人で歩き始めているなど、歩行をすることで、見える世界も広がり、様々なことに興味関心をもち始めていました。

また、大人との応答的な関わりを通して、情緒的な絆が形成されていきました。



<1歳児>

園庭やホールなどで、体を思い切り動かすことで、歩く、走る、跳ぶなど、様々な動きを楽しむようになっていきました。基本的運動機能が発達していき、物をつかむ、すくうなどの指先を使った遊びを楽しむ中で、体を思うように動かすことができるようになっていきました。また、生活の面でも、手を使ってできることが増え、身の回りのことを自分でしようとするようになっていきました。



<2歳児>

クラスという新しい環境で、自分の好きな遊び、好きな場所を見つけ、安心できる場所になっていきました。

また、自分はこうしたいという気持ちを持つようになり、その思いが思い通りにならず、もどかしさを感じていることもありますが、欲求を受け止めてもらえる経験を重ねることを大事にして関わってきました。また、クラスの周りの子に興味を持ったり、時には同じもので一緒に遊んだりするなど、友達同士の関わりが徐々に育まれていきました。



4月からは、それぞれの学年に進級していきます。乳幼児期に大事にしていることを、これからも職員一同共有しながら、来年度も子どもたちのために保育を行って行きたいと思えます。



卒園式・修了式

3月15日は、認定こども園あかみ幼稚園の第64回卒園式でした。82人の卒園生は、緊張する様子も見られましたが、頼もしい姿を見せてくれました。

これからも、「自分の良さを生かして、自分も大切、相手も大切にしてほしい」と願います。



さて、本日は修了式でした。この1年間で子どもたちは経験をたくさん積み、大きく成長しました。



一人遊びも十分楽しみ、友だちと一緒にの楽しさも感じるようになってきました。



自分の得意なことを見つけ、自分に少しずつ自信が持てるようになってきました。



クラスの仲間との存在を大切に感じ、また、自分たちでルールを決めてそれを守ることができるようになりました。

この1年間を土台として、新しい年度を迎えてほしいと願っています。

1年間ご協力いただきありがとうございました。

今年度、最後の理事会が行われました

「理事会」では、三役の皆様、クラス役員の皆様が園の代表として、参加し、保護者会のこと、園のことに関して、様々な意見を交換しました。

今回は、理事会に参加した感想を皆様にお聞きしました。係になった経緯はそれぞれでしたが、やってみてとてもよかったというお声が多かったです。

「園の様子が知れた」「園でどんなことを検討し、考えているかなど聞くことができるいい機会だった」「保護者同士で、一緒に何かを考えることができとてもよかった」など、園として嬉しいお言葉ばかりでした。

これからも、子どもたちを中心に、園と保護者が一緒になって、様々なことを共有しながら、喜び合える関係性を継続していきたいと改めて感じました。今後とも、皆様よろしく願います。

こども基本法施行

こども基本法が制定され、令和5年4月1日から施行されます。

これは、こども家庭庁の設置と相まって作成され、「こどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取り組みや政策を我が国社会の真ん中に据えて、強力に進めていくこと」を目指しています。

認定こども園あかみ幼稚園・メイプルキッズでは、入園時、「子どもの権利条約」についての資料をお渡しして、子どもの最善の利益に関して大切であることは、お伝えしてきたことです。今までもこれからも守られなくてはならない大切なことであると認識しています。

こども基本法に関して、新年度またお伝えしていきたいと考えています。